



# 東北大学 研究推進・支援機構 テクニカルサポートセンター

---

佐藤正一・坂園聡美

第7回設備サポートセンター整備事業シンポジウム

令和3年1月28日

# 事業概要

## ■ 組織体制

### 東北大学

#### 研究推進・支援機構

(機構長：理事・副学長 (研究担当))

研究推進・支援機構運営委員会

研究設備マネジメント専門委員会

#### テクニカルサポートセンター (TSC)

TSC運営委員会

TSCサテライト (各キャンパス)

#### 【テクニカルサポートセンター人員】

- センター長 (併任)  
(理事・副学長 (研究担当))
- 副センター長 (併任)  
(総長特別補佐 (研究担当))
- 専任スタッフ  
(特任教員 2 名、事務補佐員 2 名)

# 事業概要（テクニカルサポートセンター）

---

## ■ 設備サポートセンター整備事業採択期間

平成27～29年度

## ■ 目的

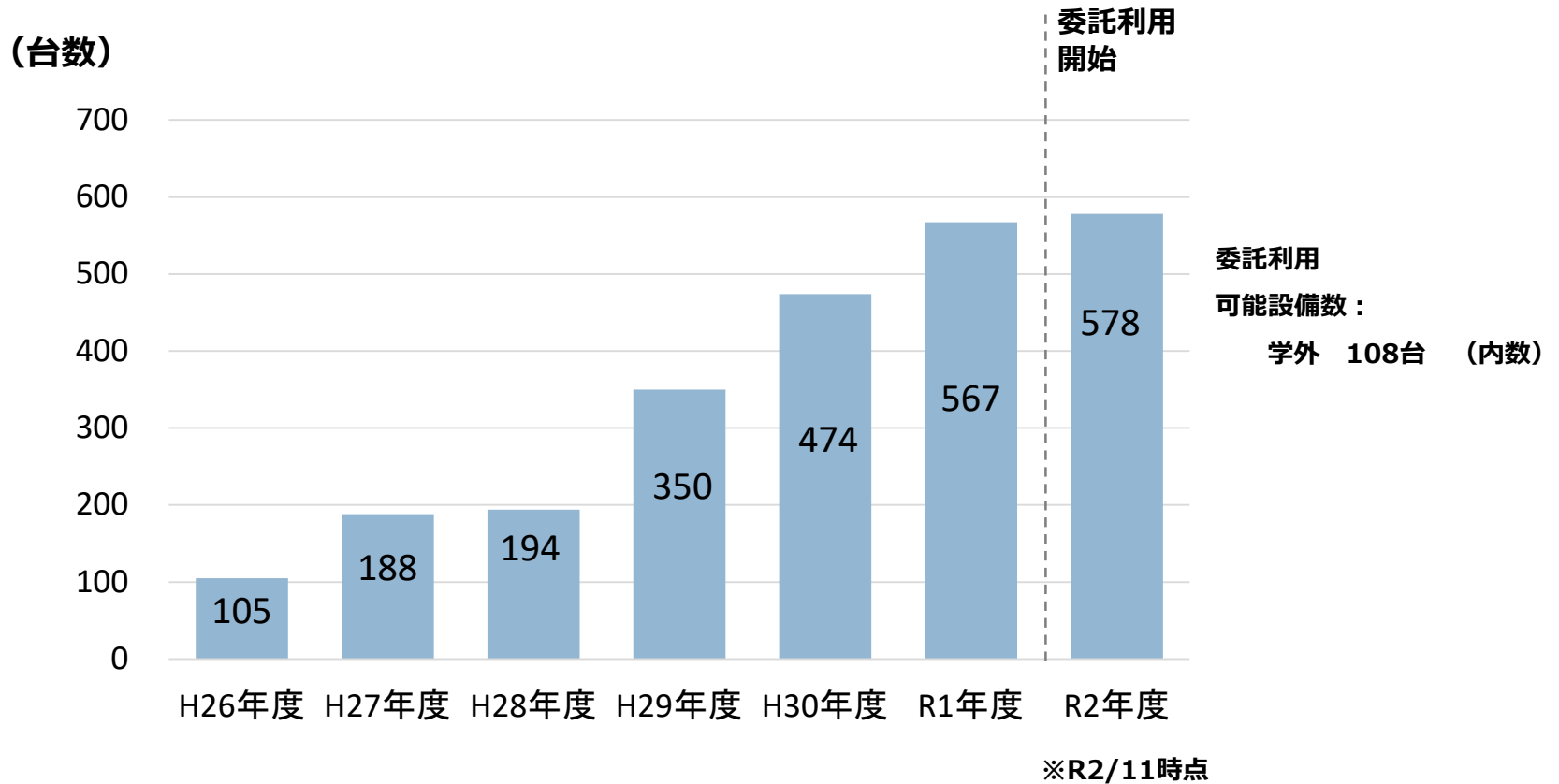
東北大学における研究教育高度化や社会貢献の推進を図るため、学内の研究設備を学内外への利用に供する全学的な組織として設置(H20年1月)

## ■ ミッション

- 共用可能設備の全学的把握とデータベース化
- 研究設備の効果的・効率的運用のための策定
- 全学的研究設備のマネジメント
- 設備利用者のニーズ・技術に関する相談対応及びコーディネート
- 設備の利用手続きにかかる事務業務

# 取組事例：① 共用設備の利用実績

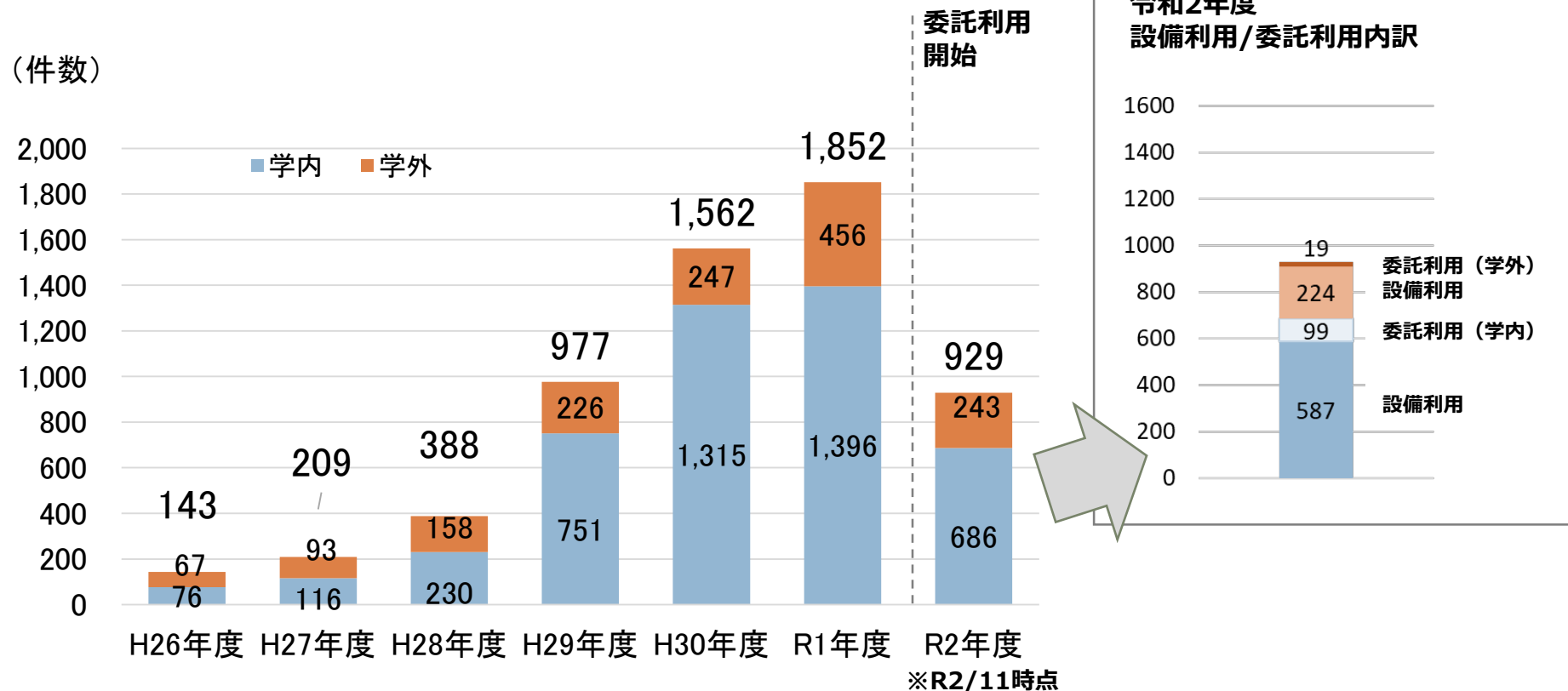
## 1) 登録設備数



平成27年の事業採択以降、共用登録を促進し、令和2年からは委託利用を開始

# 取組事例：① 共用設備の利用実績

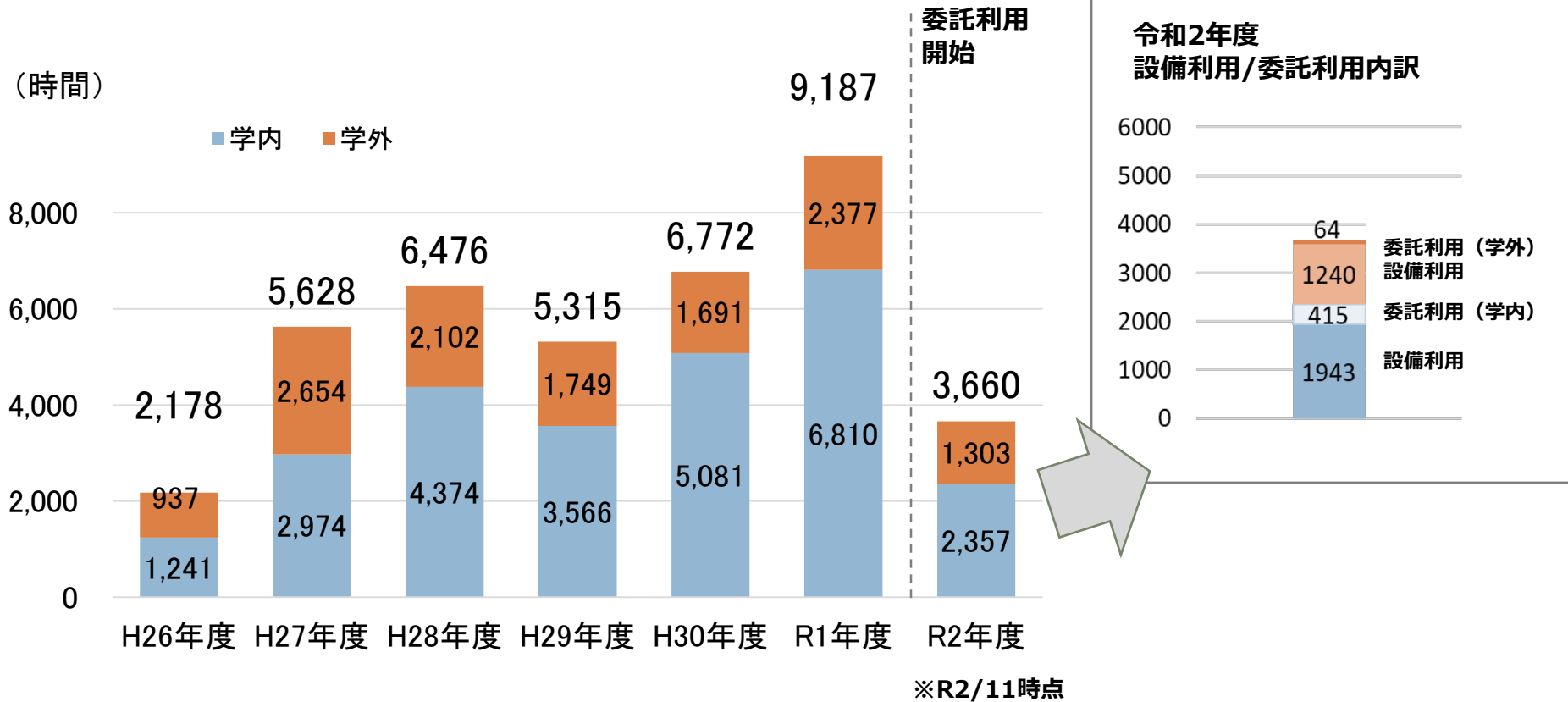
## 2) 利用件数



令和2年はコロナの影響により、1Q (4~6月) 低調、2Q、3Qは例年水準

# 取組事例：① 共用設備の利用実績

## 3) 利用時間数



令和2年は学外利用の利用時間比率が増えている。しかし10月以降は学内利用が増加傾向



## 取組事例：② 若手研究者向け共用設備利用支援制度

本学に所属する若手研究者の研究支援の一環として、共用設備の利用支援制度を新設（令和2年7月～）

### ■ 支援対象者

本学に所属する若手研究者  
（主に39歳以下または博士号取得15年以内の者）

### ■ 支援内容

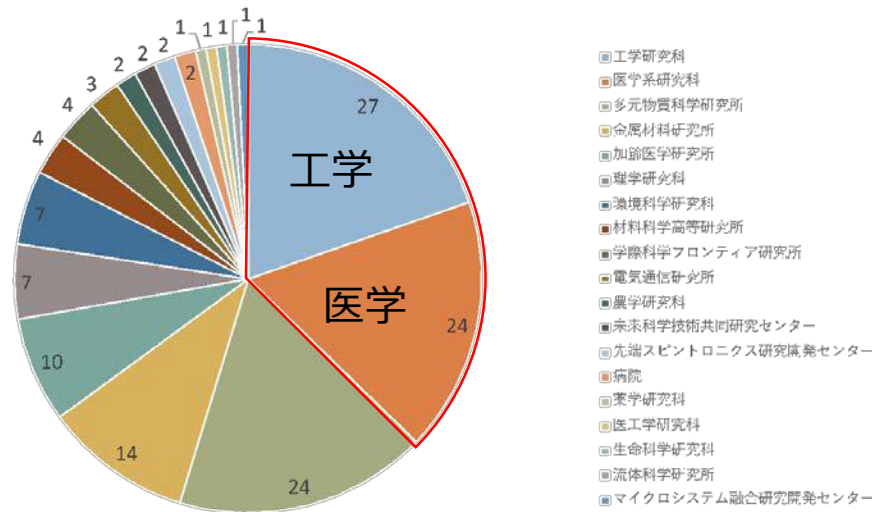
若手研究者が研究代表者として共用設備を利用した場合、  
利用料の半額を免除



# 取組事例：② 若手研究者向け共用設備利用支援制度

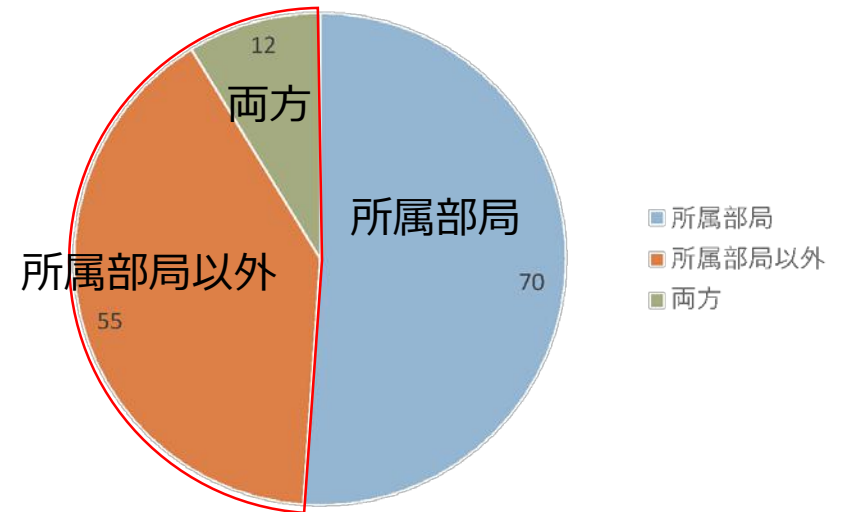
## ■ 実施状況（令和2第2四半期）

制度の利用者数：134人（19部局）



4割弱が工学部と医学部に所属

設備の利用先（16部局）



半数は他部局へ設備を利用しに行っている



## 取組事例：③ 料金算出基準の見直し

### ■ 全学の料金算出基準として新たに3項目を追加（令和2年4月）

物品貸付料		受託分析加工料	技術指導料	施設等使用料
利用者が自ら設備を操作		本学が委託を受け分析・測定・加工等を実施	設備の操作方法指導、利用時のサポート等	特別な施設(クリーンルーム等)の使用が伴う場合
これまで	○	×	×	×
<b>見直し後</b>	○	○	○	○

### ■ 適用例) A設備の利用について

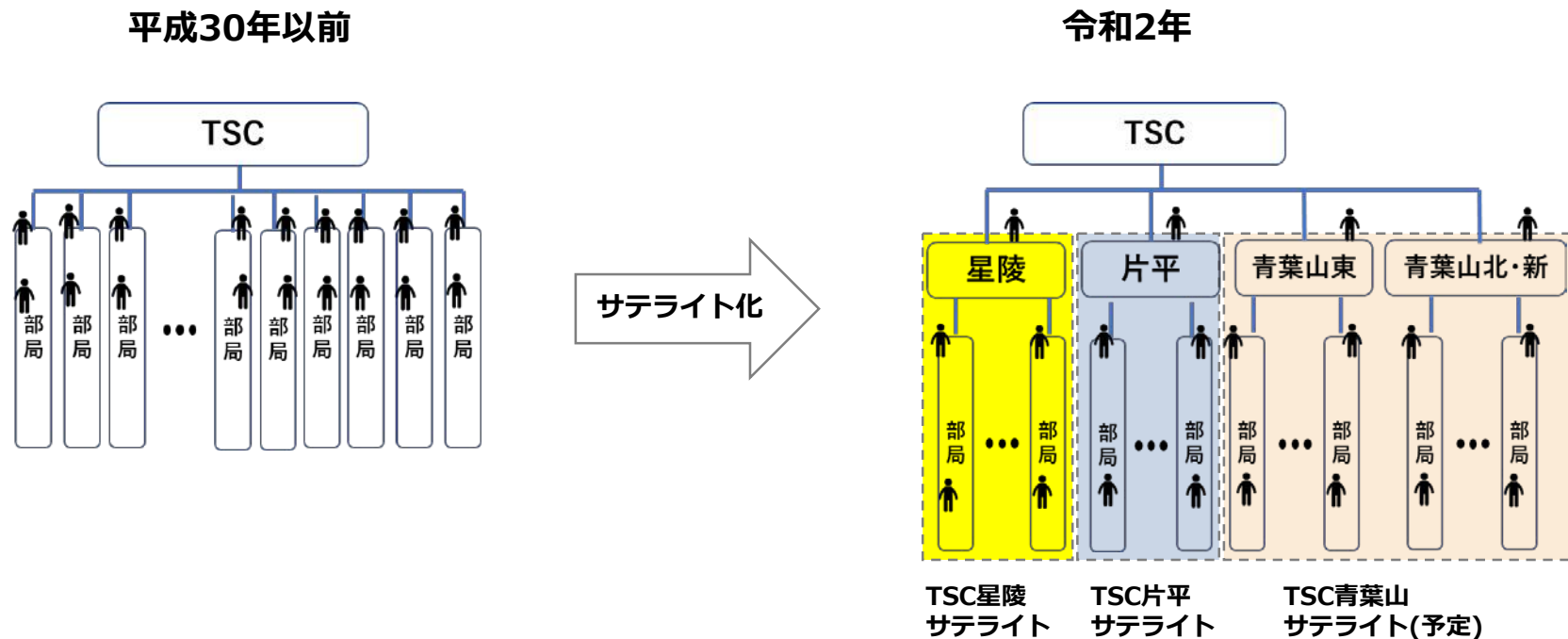
これまで	見直し後
設備利用料	設備利用料
	技術指導料
	施設等使用料

⇒ 半年間で約150万円

# 取組事例：④ キャンパスサテライト化構想の推進

## ■ サテライト構想

部局毎の分散管理における課題等を分析し、サテライト全体として共用設備の維持・更新費を確保し、より効果的、安定的に管理・運用するための仕組みを構築する。  
 また活動を通じてサテライト全体としてのメリットを創造する。



# 取組事例：④ キャンパスサテライト化構想の推進

## ■ 推進状況

TSC星陵サテライト（5部局）	平成30年度済
TSC片平サテライト（9部局）	令和2年度済
TSC青葉山サテライト（14部局）	令和2年度予定
・青葉山東、青葉山北 2サテライト	

## ■ 取組み

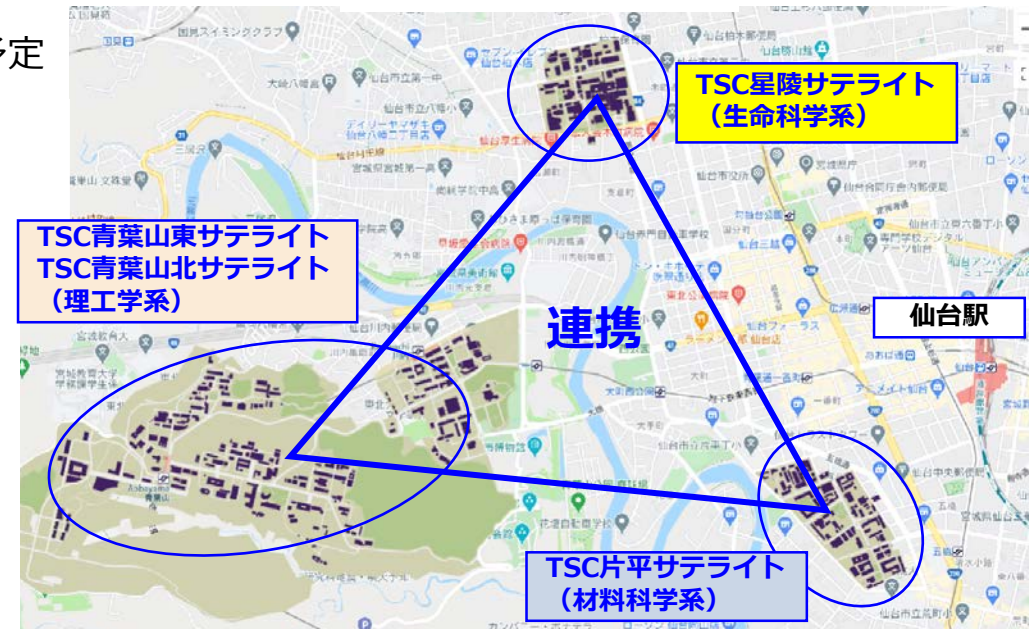
### ○効果的な設備維持・運用

- ・課題・制約を抽出・分析し、関係部局・本部と調整
- ・各部局の設備共有ノウハウ、情報を共有し、施策策定
- ・信頼性の高いエビデンスに基づく経営資産の選択と集中

### ○研究基盤としての研究・教育設備を戦略的に

導入、更新、共用する仕組みを策定、実施

TSCサテライト配置



# その他の活動事例

## ■ 新型コロナウイルス感染症の感染防止対応

### 1) 感染防止対応実施例：

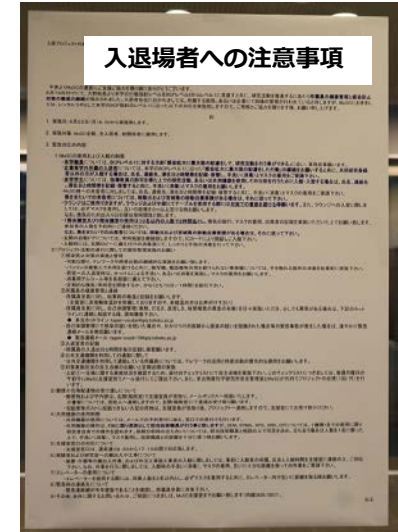
産学連携先端材料研究開発センター（MaSC）棟における感染防止。

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため東北大学の行動指針（BCP）に基づき、研究活動におけるセンター、共通機器室での注意事項を設定し確実に遵守している



### ① 入口掲示物

MaSC棟入場時、注意事項を確認、窓口にインターホンで連絡し、オートロックドアを開放、入場



### ② 入口手指消毒



### ③ 受付・検温

所属機関名、氏名、入退出時間等必要事項記載、体温測定（窓口確認）



# その他の活動事例

## ■ 新型コロナウイルス感染症の感染防止対応



### ④ 機器室前掲示物

入室時に注意事項再確認



### ⑤ 室内手指消毒



### ⑥ 機器用消毒

共用機器利用時に手を触れた場所を適時、そして利用後も消毒



### ⑦ 入退室確認

共用機器室への入退場をカメラで撮影、保管



## 2) 設備・機器利用申請時の確認実施：

部局機器担当者は、機器利用許可伺い提出時に利用希望者に感染症防止対策の注意事項を説明し同意を得る。

TSC-機器担当部局-利用者の3者間で感染防止注意事項を共有し実施を求めている。

## 課題と今後の計画

---

### ■ 研究基盤を戦略的・継続的に維持・更新・共用するための機関としての体制

課題：設備整備予算の減少により、設備の維持・更新に遅れ、老朽化が進んでいる

計画：

○サテライト体制により、部局毎の維持・更新から、サテライト内での維持・更新・共用する体制に変更。

○研究設備の稼働、収支、予約管理状況等の情報収集と共有、そしてデータ分析により、信頼性の高いエビデンスに基づく施策策定、提案。そして本部統括部局による調整、決定。

○多様な研究をサポートできる技術職員の育成（専門性強化と新規技術の習得）と共用促進のための効率的・効果的な人員の適正配置による全学支援体制の強化



# ご静聴ありがとうございました

---

研究推進・支援機構

テクニカルサポートセンター

E-mail : [terea-tsc@grp.tohoku.ac.jp](mailto:terea-tsc@grp.tohoku.ac.jp)

TEL : 022-217-6295